

魅力いっぱい/
GYODA

埼玉県

行田

お出かけガイド



歴史も自然も盛り沢山！
行田へ出かけてみませんか？



オススメ！

歴史のまち行田 見どころスポット
忍城・埼玉古墳群・古代蓮の里

オススメ！

おいしい行田 食べ歩きグルメ
フライ・ゼリーフライ

歴史のまち行田 見どころ スポット

古代のロマンと
歴史が息づくまち行田を探索!!

東日本最大の古墳群



さきたま こふんぐん
埼玉古墳群

県立さきたま史跡の博物館／行田市埼玉4834 TEL. 048-559-1111 ②普通車303台、大型車33台 【開館時間】 9:00～16:30（入館受付は16:00まで）※7月1日～8月31日は 9:00～17:00（入館受付は16:30まで）【休館日】 月曜日（祝日・振替休日及び5月2日、埼玉県民の日（11月14日）を除く）、年末年始 ※その他 臨時休館する場合あり

埼玉古墳群は、国宝「金錯銘鉄剣」が出土した「稲荷山古墳」や日本一の規模を誇る円墳の「丸墓山古墳」などの9基の大型古墳が集中する東日本最大の古墳群です。なお、古墳群周辺はさきたま古墳公園として整備されており、園内には「県立さきたま史跡の博物館」や、はにわ作りが体験できる「はにわの館」などがあり、多くの人々が訪れます。



花蓮の名所



こ だ い は す さ と
古代蓮の里

古代蓮会館／行田市小針2375番地1 TEL. 048-559-0770 ②490台 【開館時間】 通常期（6月下旬～8月上旬以外） 9:00～16:30（入館受付は16:00まで）、蓮の開花期（6月下旬～8月上旬） 7:00～16:30（入館受付は16:00まで）【休館日】 月曜日（祝日を除く）、祝祭日の翌日（土・日は開館）、年末年始 ※蓮の開花期（6月下旬～8月上旬）は無休

ここ行田で永い眠りから目を覚ました行田蓮の、その神秘的な美しさを満喫できる「古代蓮の里」。古代蓮の里公園内では、6月下旬から8月上旬にかけて、42種類12万株の花蓮を見ることができます。花卉の数が少ない原始的な形態を持つ行田蓮は、約1400～3000年前の蓮であると言われています。

11月下旬～翌年3月下旬頃には、巨大なわらアートも登場!!

古代蓮会館マスコット
つぼみちゃん

いつでも見どころぎっしり

行田市イベントカレンダー

1月

- 初日の出（展望タワー）
- お焚き上げ

2月

- 聖徳太子例大祭
- 忍城下節分祭

3月

桜（3月～4月）



4月

- 桜ボンボリまつり
- 鉄剣マラソン
- 行田春まつり



5月

- さきたま火祭り
- 藤まつり

6月

花菖蒲（6月～）



■田んぼア

忍藩十万石の面影残る名城



お し じょう
忍 城

行田市郷土博物館／行田市本丸17-23 TEL. 048-554-5911 ②61台 【開館時間】 9:00～16:30（入館受付は16:00まで）【休館日】 月曜日（祝日・休日を除く）、祝祭日の翌日（土・日は開館）毎月第4金曜日（テーマ展・企画展開催中は開館）、年末年始



市の中心部に位置する忍城は、室町時代の文明年間に築城され、豊臣秀吉の関東平定の際には、石田三成の水攻めに耐えた「浮き城」として知られます。関東7名城のひとつに数えられた忍城は、忍藩十万石の城下町の象徴となりました。

現在ある「忍城御三階櫓」は、明治時代に取り壊されたものを昭和63年に再建したもので、内部は郷土博物館の展示室の一部となっていて、最上階からは市内が一望できます。



埼玉県名
発祥の地です



国宝「金錯銘鉄剣」

地上50mから
眺める大パノラマ
6月～10月は
田んぼアートも見られます。



古代蓮会館



お好み焼き風の「フライ」と、ジャガイモとおからのコロッケ風「ゼリーフライ」は、行田自慢の伝統の味。行田名物としてテレビや雑誌に度々登場。

油で揚げないのに...? フライ

行田でいう「フライ」とは、小麦粉を水で溶き、鉄板の上で薄く焼きながら、ねぎ、肉、卵などの具を入れ、好みにソースまたは醤油だれをつけて食べるもの。

行田市の位置する北埼玉地方は古くから小麦の産地であり、「フライ」はもともと農家で手軽に作るおやつのようなものでした。行田で昭和初期に全盛期を迎えた足袋工場で、働く女工さんに大ヒットし、販売する店が増えて定着したとのこと。現在でも市内では30店以上の店が営業しています。

甘くはないぜ! ゼリーフライ

フライと名前は似ていますが、「ゼリーフライ」は全く違う食べ物。見た目は衣のついていないコロッケのようなもので、そのルーツは、日露戦争の時、中国から伝わった「野菜まんじゅう」だということです。ジャガイモにねぎやにんじん、さらにたくさんおからが入っているのも特徴で、食物繊維が豊富でヘルシー。ソースの味と香りがとても利いて、モチモチとした食感が大人にも子どもにも大人気です。



こぜにちゃんとフラベえです。



行田ゼリーフライがモチーフの「こぜにちゃん」、行田フライがモチーフの「フラベえ」。2人力を合わせてゼリーフライ、フライの全国ブランド化計画を推進中です!

行田特産

足袋の歴史

行田周辺は足袋の原料となる木綿や青編の産地で、江戸時代の後半には足袋が行田の特産品として知られていました。

明治時代になるとミシンが使われるようになり、足袋の生産量は増大しました。また銀行等が設立され資金が安定し、ミシンの動力化も進んで、名実ともに行田の足袋は日本一となりました。

昭和13年(1938)の足袋生産量は8,400万足で、これは全国生産のおよそ8割を占めており、平成27年3月、郷土博物館所蔵の「行田の足袋製造用具及び製品」が国登録有形民俗文化財に登録されました。



現在も全国トップシェアをほこっています



●足袋とくらしの博物館

全盛期の行田の足袋工場の様子を再現した館内で、足袋づくりの実演見学などができます。

土・日のみ開館

開館時間 10:00 ~ 15:00

行田市行田1-2 TEL.048-552-1010

アツい! 楽しい!

行田のお祭り

祭

行田には四季を彩るお祭りもいっぱい!



5月4日
さきたま祭り



7月下旬
行田浮き城まつり



11月中旬
行田商工祭・忍城時代まつり



12月6日
愛宕神社 酉の市

7月

8月

9月

10月

11月

12月

■蓮まつり

■とうろう流し納涼大会(8月16日)

■菊花展 ■商工祭・忍城時代まつり ■酉の市

■浮き城まつり(7月下旬)

■ささら獅子舞

■サケの遡上(10~12月末)

■ぎょうだ「夢」まつり(11月下旬)

■わらアート(11月下旬~翌年3月下旬頃)

ート(6~10月)

古代蓮 (6月~8月)

ホテイアオイ (8月~9月)

キタミソウ (10月~)

菊 (10月~11月)



行田ゆくくる年



● 自家用車

東北自動車道

- ▶ 羽生インター…125号バイパス経由で25分
- ▶ 加須インター…加須市内より125号国道経由で30分

関越自動車道

- ▶ 花園インター…140号国道より熊谷経由17号バイパスで40分
- ▶ 東松山インター…滑川町から吹上経由で30分

● 電車・バス

上越新幹線

JR高崎線

東武伊勢崎線

- ▶ 熊谷駅下車 JR高崎線乗りかえ 行田駅下車、又は 秩父鉄道乗りかえ 行田市駅下車
- ▶ 北鴻巣駅…さきたま緑道(彫刻の遊歩道)から徒歩80分
- ▶ 吹上駅…朝日バス利用で15分程度
- ▶ 行田駅…市内循環バス
- ▶ 熊谷駅…秩父鉄道乗りかえ 行田市駅下車
- ▶ 羽生駅下車 秩父鉄道乗りかえ 行田市駅下車

行田市内の
観光のことなら
なんでもおまかせ

★★★ 観光案内所のご案内 ★★★



バスターミナル観光案内所

市の中心にある「行田市バスターミナル」に隣接しております。施設内には観光パンフレットが充実、またパソコンが設置されているので、1日の観光プランを立てることも可能です。休憩スペースも設けてございますので、ぜひご利用ください。

行田市本丸3-5 TEL. 048-554-8820
開設時間: 9時～16時
開設日: 毎日(12月29日～1月3日は休館)



観光案内所

JR行田駅東口を降りるとすぐのところに観光案内所がございます。行田市の観光情報、公共施設や宿泊施設などをご案内いたします。また、市内循環バスの待合室も設けてございます。併せてぜひご利用ください。

行田市若里山町12-1 TEL. 048-550-1611
開設時間: 9時～16時
開設日: 毎日(12月29日～1月3日は休館)



観光情報館 ぶらっと♪ぎょうだ

行田市商工センター 1階にございます。行田市の観光情報等についてご案内しております。一部の市内特産品の紹介や販売をしており、休憩所も設けておりますので、気軽に「ぶらっと」お立ち寄りください。

行田市忍2-1-8 (行田市商工センター1階)
TEL. 048-554-1036 開設時間: 9時～16時
開設日: 毎日(12月29日～1月3日は休館)



観光ガイドステーション

足袋蔵まちづくりミュージアムにおいて、観光情報の提供や特産品の紹介・あっせんを行っています。(NPO法人 ぎょうだ足袋蔵ネットワーク運営)

行田市行田5-15 TEL. 048-552-1010
毎日営業(12/29～1/3、8/13～8/16は休館)
開館時間: 午前10時～午後4時
入館料無料

